

インフォシス、Microsoft Azure Sentinel を活用した Cyber Next プラットフォームベースのサービスを開始

バンガロール、2019 年 11 月 26 日:次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーである**インフォシス** (NYSE: INFY)は本日、Microsoft Azure Sentinel を活用した Cyber Next プラットフォームベースのサービス開始を発表しました。このサービスは、企業によるセキュリティの監視や管理、脅威の検出、対応サービスの強化をサポートするものです。

Microsoft Azure Sentinel は、クラウドネイティブな SIEM(セキュリティ情報イベント管理)と SOAR (Security Orchestration, Automation and Response) ソリューションから成り、企業のデータに迫る脅威の検出、保護、対応を行います。Azure Sentinel の高度な AI とセキュリティ分析機能をもつマイクロソフトとの戦略提携により、インフォシスの脅威検出能力と対応力は大幅に拡大します。

こうした機能は、インフォシスが Cyber Next プラットフォームを強化し、お客様に包括的なマネージド・セキュリティ・サービスを提供するのに役立ちます。これには 24 時間体制の監視やライフサイクル管理、インシデントの調査に加えて、リアルタイムの脅威インテリジェンスによる SIEM データ拡充が含まれます。このサービスは、プラットフォームの専門家や高い技術を持つセキュリティ・アナリストが在籍する世界中のサイバー防衛センターを経由して提供されます。当社の広範囲に及ぶセキュリティ・オペレーション、マネージド・セキュリティ・サービス機能、豊富なユースケース、数々の戦略、速やかな ITSM 統合のために事前定義されたルールは、お客様のセキュリティ・オペレーションセンター(SOC)を効率化し、成熟させるのに役立ちます。

インフォシスのビジュアル・サルビ CISO 兼サイバーセキュリティ事業部長は、「当社は、Azure Sentinel を駆使した次世代プラットフォームベースのサービスを構築しています。このサービスによって、お客様のセキュリティ・オペレーションを簡易化し、成長に応じたスケールアップを可能にします。Azure Sentinel のコア機能は、サイバーセキュリティ成熟モデルの飛躍的な発展と SOC 業務効率化に向けたインテリジェント・アナリティクスの活用という点において、『診断、設計、提供、防衛する』、という当社の理念と一致しています」と述べました。

マイクロソフト社サイバーセキュリティ・ソリューション・グループのコーポレート・バイスプレジデント、アン・ジョンソン氏は、「当社には新しいサイバーセキュリティ機能をお客様に届ける責任があります。当社のセキュリティのポートフォリオの強みとインフォシスの提供するサービスを組み合わせることで、人工知能を駆使してセキュリティ管理を強化し、変わりゆく脅威のランドスケープで上手に舵取りすることが可能となります」と述べました。

両社は戦略提携により、マイクロソフトの優れたポートフォリオとインフォシスのサービスベースの機能を組み合わせることで、企業が効率的にリスクをプロファイリングし、脅威の優先順位化や総合的な管理ができるようサポートします。今回の提携では特に、強固なシステムやプラットフォーム、ソリューション

の構築に力を注ぐことで、ハイブリッドなインフラの隅々に渡り、脅威の検出や対応管理を行えるようにし、企業の規格への準拠や安全性、信頼性の向上を目指します。

インフォシスについて

インフォシスは、次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーです。当社は 46 カ国の顧客のデジタル変革を実現しています。過去 30 年間グローバル企業のシステムや業務を管理してきた経験に基づき、お客様のデジタル変革を専門的に誘導します。AI による変更実行の優先順位化、アジャイル・デジタルによるビジネス強化、優れたサービス提供により、お客様に高い評価をいただいています。当社は常に学習し、イノベーション・エコシステムのデジタル・スキル、専門知識、アイデアを活用して継続的な改善を実現しています。www.infosys.com をご覧になり、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように企業のデジタル変革を支援しているかご確認ください。

お問合せ先

インフォシスリミテッド 日本オフィス

マーケティング本部長 安藤 03-5545-3257 Email jo_ando@infosys.com